

十二月のおもちゃサロンは

## おもちゃサロンのクリスマス会

を行いました。

スタッフの発案で十二月のおもちゃサロンは「クリスマス会」を開催しました！初めての試みでしたので、たくさんの方が来てくれるかな？プレゼントや飲み物の数は足りるかな？など、不安を抱えながら親子で楽しんでいただけたよう準備をしました。実際は親子六組の参加があり、子どもたちは背丈よりも大きな一八〇cmもあるクリスマスツリーに赤やゴールドのオーナメントを賑わいながら飾り付けを施しました。

前日までに会議室をクリスマス仕様で飾りつけし、当日はスタッフも気合を入れてトナカイの力チューシヤやサンタクロースのエプロンをつけてお迎えし、子ども達や保護者だけでなくスタッフも楽しい時間を過ごすことができました。飾り付け終了後に行ったクリスマスミュージックに合わせた親子でのお遊戯は子どもたちからアンコールがでるほど好評でした♪記念写真を撮ったり、サンタクロースに扮したスタッフからプレゼントを受け取った子どもたちの笑顔を見て私たちも童心にかえり、楽しいひとときを過ごすことができました。

また来年度も、大きなツリーが出番を待っており、是非開催したいと思っております♪



地域連携情報

## 「くわい喫茶サロン」にて

特別養護老人ホームしんがい

施設長 田口繁則

いつも楽しみにしている「くわい喫茶サロン」が、コロナウイルス感染防止のため閉店されています。止むを得ない措置であり、私たちの施設でも同様に、面会していただくことが難しい状況にあります。早く、いつもどおりの生活に復帰できることを願って止みません。

愛称「くわい喫茶サロン」は、正式名称「新涯学区喫茶店風サロン」といい、二〇一六年六月二日に開店されたと聞いております。私たちの施設は、サロンの開店から一年遅れて新涯三丁目で事業開始し、地域に仲間入りさせていただいています。

「くわい喫茶サロン」は、地域住民の孤立感の解消、地域の見守り、閉じこもりの防止、健康の維持向上を図り、地域のコミュニティを目的に開設されていることから、私も毎週水曜日には、極力参加させていただいております。

初冬の頃のサロンでは、子育て応援事業の一環としての「芋ほり体験」の話に花が咲き、収穫の喜びを当施設の高齢者の方々にも味わってもらえればと思いつかべておりました。ところが後日、当施設に見たことのない巨大な「さつまいも」が届き大変驚きました。早速「ふかしいも」「スイートポテト」「パンケーキ」を施設利用者の皆さんと共に作り、おいしく頂戴いたしました。

新涯学区の皆さんの優しさと温かいご厚情に感謝申し上げます。



大きなさつま芋をいただきました♪

また、サロンが開店された二〇一六年の新涯学区での出来事として、次の事業も聞かせていただきました。一月一〇日には、絆を深める事業の一環として「新涯学区とんど祭」が初めて実施されたこと。

五月十八日には、「ふれあいいきいきサロン」のフィナーレで、全員が「福山百年祝歌」を踊られたこと。

六月二日には、新涯学区福祉を高める会と体育会の共催による「第一回グラウンドゴルフ大会」が開催されたこと等、このように様々な事業が開催され、今日に至っていることは誠に素晴らしい地域だと受け止めています。

また、地域の歴史も聞かせていただきながら、改めて絆を大切にしながら、地域の皆様とともに「歩んでまいりたい」と考えております。

コロナが少しでも早く終結し、これまで積み上げて来られた活動が一日も早く再開され、私たちも「ともに」参加させていただける日を願って止みません。



利用者さんと作ったふかしいも



甘くて美味しいスイートポテト

### 待ち遠しい喫茶サロンの再開

くわい喫茶サロンは、去る六月二十二日で五周年を迎えました。しかしながら今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用などにより、閉店することが多く、以前のようなにぎわいのあるサロンの様相になかなか戻ることができません。

今後のコロナ感染の動向にもありますが、一日でも早く終息し、くわい喫茶サロンに以前のようになぎわいが戻り、コミュニティが活性化することを願って止みません。

閉店中は大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解をいただき、再開後は従前どおりの内容で、皆様方にとほっとしたひとときをお過ごしいただけるようスタッフ一同心よりお待ちしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。